福島県生涯学習基本計画の進行管理について（概要版）

資料２

基本目標

学び合い、支え合い、地域が輝く。
次世代へつなぐ　生涯学習社会ふくしま

＜計画目標の実現へ＞

学びの機会提供・情報発信・機運醸成・環境づくり

ささえ、いかし、ひろげ、つなげる視点から総合的に推進

学び合い、支え合い、地域が輝く。
次世代へつなぐ　生涯学習社会ふくしま

１　令和７年度の取組状況について（実績まとめ）

（１）生涯学習関連事業について

①　人生１００年時代を生きる学びの推進

学びをささえる

○年配者・若者・障がい者の学び、心身の健康づくり

世代やライフステージに応じた多様な学習機会の提供が進み、県民カレッジの充実や再就職支援、体験活動、デフリンピックの開催、アートウォーキング等の取組により、多様な年代・状況に向けた学びの機会の充実・促進と健康づくりが図られた。

②　地域づくりにつながる学びの推進

学びをいかす

○地域コミュニティ活性化、地域への誇り・愛着の醸成

NPOやボランティアの活動を支援するとともに、新規就農支援や高校生の地域課題探究活動支援、高校生社会貢献活動コンテストの開催、民俗芸能への総合支援等を通じて、地域への愛着や誇りの醸成が図られ、地域コミュニティの活性化につながった。

③　東日本大震災及び原子力災害の記憶と教訓の伝承

学びをひろげる

○震災経験や教訓の伝承・防災教育、伝承館による伝承

高校生による情報発信・交流や、ジャーナリストスクールの開催、震災語り部のネットワーク化のほか、伝承館を核とした震災学習機会の提供や防災教育の推進等により、震災の記憶と教訓の継承及び地域や世代を超えた伝承が図られた。

④　社会の変化等に対応した学びやすい環境づくりの推進

学びをつなげる

○ＩＣＴの活用、学習成果の発表と活用、関係機関等の連携強化

ＩＣＴを活用した学習情報の提供やデジタル技術の活用支援、学習成果の発表機会の充実に加え、関係機関と連携した展覧会や声楽コンテスト、美術館等の大型企画展の開催等により、誰もが学びやすい環境づくりが進展した。

（２）生涯学習基本計画の指標について

＜　指標の達成状況等　＞

○　指標の全体像は右図のとおり。
全25指標中**19指標**がB評価以上となった。

	A	B	C	D	対象外	指標数
①	1	1	2			4
②	2		1			3
③		3				3
④	9	3	1	2		15
計	**12**	**7**	**4**	**2**	0	**25**

【指標の評価方法】
A:100%以上　B:99~80%
C:79~70%　D:69%以下

○　A・Bの指標は、**成果**が着実に現れている。
県立美術館は、大型企画展の開催等により令和７年度は過去最高水準の入館者数に。
- 「県立美術館の入館者数」（大ゴッホ展等）
- 「ふるさとの祭り参加民俗芸能団体数」
- 「成人の週１回以上の運動・スポーツ実施率」
- 「東日本大震災・原子力災害伝承館来館者数」（開館５年、震災15年）
- 「アクアマリンふくしまの入館者数」（はじまりの森、えっぐのリニューアル等）

○　C・Dの指標は、目標値達成には至らず**改善が必要**であるが、数値だけでは測れない取組の効果や成果も見られることから、総合的な観点による評価も重要である。
- 「県文化財センター白河館の入館者数」
  → 若年層向け企画展や体験事業の充実により、入館者数は増加傾向にある。
- 「オンラインを活用した生涯学習講座数」
- 「住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加している県民の割合」
- 「個別の教育支援計画の引継ぎ率」

→これらの指標については、学習機会の確保や地域活動への参加促進、支援体制の充実などを通して改善を図る必要がある。

福島県生涯学習基本計画の進行管理について（概要版）

資料２

Ⅰ　令和７年度の主な取組（主な実績）

【指標の評価方法】
A：100%以上　B：99～80%　C：79～70%　D：69%以下

施策①　人生１００年時代を生きる学びの推進

＜人生１００年時代の学び、若い世代の「生きる力」を育む学び、支援が必要な方の学び、心身の健康づくりに向けた学び＞

令和７年度の主な取組実績【全６７事業】

○　離職者等再就職訓練事業（298,557千円）
・受講者 995名　修了者 771名　就職率 76.3%

○　チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事
（キッズパワーアップ事業、「ふくしまの未来」へつなぐ
体験活動応援事業）　（97,780千円）
・小中学生対象の自然体験活動及び
震災を学ぶ活動等参加者数 9,262名

○　東京2025デフリンピック開催復興推進事業（82,617千円）
・100日前カウントダウンフェスタ　参加者数1,074名
・子ども観戦招待　32校／2,080名参加

○　チャレンジふくしま県民運動推進事業（29,754千円）
・県民運動イベント登録数 800件
・ふくしまアートウォーキング

指標の達成状況【全４指標】

○「市町村生涯学習講座受講者数（人口千人当たり）」
目標680人 実績540人 ⇒評価C
（講座数減の市町村が複数あったため。）

○「福島県次世代育成支援企業認証数」
目標1,232件 実績1,453件 ⇒評価A

○「個別の教育支援計画の引継ぎ率」
目標100% 実績79.7% ⇒評価C
（計画の新規作成数が増えたため。）

○「成人の週１回以上の運動・スポーツ実施率」
目標55% 実績53.6% ⇒評価B

達成状況	指標の数	割　合
A	1	25%
B	1	25%
C	2	50%
D	0	0％
－(対象外)	0	0％
合計	4	100%

※割合＝対象指標数／指標合計

施策②　地域づくりにつながる学びの推進

＜地域コミュニティ活性化、地域への誇りと愛着を育む学び＞

令和７年度の主な取組実績【全３７事業】

○ふるさと・きずな維持・再生支援事業（5,249千円）
・ＮＰＯ・企業等訪問　53件、伴走支援　30件、成果報告会

○　ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業
（教育機関と連携した就農促進事業）（104,224千円）
・農業法人等での実習生受け入れ、雇用マッチング　等

○　ふくしまを創る若者のプラットフォーム構築事業（32,718千円）
・各県立高校の地域課題探究活動への支援
・ふくしま高校生社会貢献活動コンテストの開催　等

○「地域のたから」民俗芸能総合支援事業（17,839千円）
・民俗芸能公演に計21団体出演、専門家による団体支援

指標の達成状況【全３指標】

○「住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参
加していると回答した県民の割合（意識調査）」
目標21.9%　実績16.0% ⇒評価C
（コロナの５類移行後は、
地域活動への参加者は増加傾向にある。）

○「NPOやボランティアと県内自治体等との
協働事業件数」
目標531件 実績536件 ⇒評価A

○「ふるさとの祭り参加民俗芸能団体数（累計）」
目標268団体 実績268団体 ⇒評価A

達成状況	指標の数	割　合
A	2	66%
B	0	0％
C	1	33%
D	0	0%
－(対象外)	0	0％
合計	3	100%

※割合＝対象指標数／指標計合

福島県生涯学習基本計画の進行管理について（概要版）

【指標の評価方法】
A：100%以上　B：99～80%　C：79～70%　D：69%以下

施策③　東日本大震災及び原子力災害の記憶と教訓の伝承

＜東日本大震災の経験や教訓の伝承と防災教育、伝承館による記憶と教訓の伝承＞

令和７年度の主な取組実績【全１８事業】

○　震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部事業（7,052千円）
・実践校を13校指定。代表生徒による「語り部交流会」を実施。
・うち7校が海外、県外の高校生らと交流活動を実施。

○　震災・原発災の経験・教訓、復興状況伝承事業
（ジャーナリストスクール開催事業）（7,417千円）
・参加者：県内の小・中・高校生及びスクールOBOG
・受講者数 39名　発表会参観者 117名　新聞発行部数　60,000部

○　東日本大震災・原子力災害伝承館管理運営事業（425,021千円）
・資料収集 981点　企画展示　2回　他県での巡回展示　10回

指標の達成状況【全３指標】

○「語り部や風評払拭、風化防止に関連する探究活動を実施した県内県立高校の割合」
目標100% 実績86.1% ⇒評価 B

○「東日本大震災・原子力災害伝承館」
来館者数
目標96,000人 実績92,601人 ⇒評価 B
研修参加者数
目標14,300人 実績12,832人 ⇒評価 B

達成状況	指標の数	割　合
A	0	0%
B	**3**	100%
C	0	0％
D	0	0％
－(対象外)	0	0％
合計	**3**	100%

※割合＝対象指標数／指標計合

施策④　社会の変化等に対応した学びやすい環境づくりの推進

＜ICTの活用と学習情報の提供、学習成果の発表と活用の場の提供、関係機関等の連携・強化＞

令和７年度の主な取組実績【全２２事業】

○　学びあう生涯学習社会形成事業（ふくしまマナビｉ）（1,328千円）
・講座年度管理、講座別受講者アンケート集計等の機能追加
・アクセス数 209,659PV、登録講座数 13,030 （※R8.7.31現在）

○　デジタルデバイド解消事業（2,455千円）
・スマホ教室 15町村 計29回開催
・デジタルサポーターを5市町村計39名認定

○　県展開催事業（25,128千円）
・５部門（日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書）
・出品数　627点（うち公募565点）

○声楽アンサンブルコンテスト全国大会（19,198千円）
・４部門　出場 132団体　入場者数 4,857名

○　美術館企画展開催経費（48,367千円）
・金曜ロードショーとジブリ展（観覧者数約21万人）
・大ゴッホ展（観覧者数約26万人）
・企画展を５回開催、企画展観覧者総数　358,978人

指標の達成状況【全１５指標】

○「県民カレッジ受講者数」
目標188,000人　実績794,165 ⇒評価 A

○「オンラインを活用した生涯学習講座数」
目標95件 実績41件 ⇒評価 D
（オンライン講座数は少ないものの、
前年度から比べて増加傾向にある。）

○「学んだことをいかす機会が講座内に組み込まれている市町村生涯学習講座数」
目標452件 実績571件 ⇒評価 A

○「県立美術館の入館者数、講座数、講座受講者数」
目標100,000人 実績433,307人 ⇒評価 A
目標　50人 実績　49人 ⇒評価 B
目標 1,500人 実績　2,334人 ⇒評価 A

達成状況	指標の数	割　合
A	**9**	60%
B	**3**	20%
C	1	7%
D	2	13%
－(対象外)	0	0％
合計	**１５**	100%

※割合＝対象指標数／指標計合

福島県生涯学習基本計画の進行管理について（概要版）

Ⅱ　令和８年度の主な取組

＜推進施策＞	＜ 主 な 取 組 ＞
施策① **人生１００年時代を生きる学びの推進** ささえる【６４事業】 （うち新規１０，一部新規３）	○　県政150周年記念事業【37,511千円】 ○　離職者等再就職訓練事業【423,907千円】 ○　【新】ふくしま未来創造プログラム【88,440千円】 ○　子ども音楽体験支援事業【2,759千円】 ○　【新】オリンピック・パラリンピック・デフリンピックレガシー事業【10,604千円】 ○　みんなで実践　チャレンジふくしま県民運動推進事業（ふくしまアートウォーキング）【29,855千円】
施策② **地域づくりにつながる学びの推進** いかす【３６事業】 （うち新規３，一部新規１）	○　地域創生総合支援事業【869,783千円】 ○　【新】地域共創による高校生の探究的な学び推進事業【59,418千円】 ○　ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業（多様な担い手確保支援事業）【88,175千円】 ○　地域学校協働本部事業（復興に向けた学びを通じた協働のまちづくり事業）【108,852千円】 ○　「地域のたから」民俗芸能総合支援事業【20,225千円】 ○　ニュースポーツによる高齢者の健康づくり支援事業【1,715千円】
施策③ **東日本大震災及び原子力災害の記憶と教訓の伝承** ひろげる【１６事業】 （うち新規１，一部新規１）	○　【新】そなえるふくしま推進事業【37,739千円】 ○　福島イノベーション人材育成支援事業【30,714千円】 ○　東日本大震災福島県復興ライブラリー整備事業【2,914千円】 ○　水害・土砂災害に関する防災教育を支援する出前講座【0千円】 ○　震災・原発災の経験・教訓、復興状況伝承事業（ジャーナリストスクール開催事業）【7,717千円】 ○　東日本大震災・原子力災害伝承館管理運営事業【422,937千円】
施策④ **社会の変化等に対応した学びやすい環境づくりの推進** つなげる【２２事業】 （うち新規１，一部新規０）	○　学びあう生涯学習社会形成事業（ふくしまマナビｉ(ｱｲ)）【432千円】 ○　デジタルデバイド解消事業【4,921千円】 ○　【新】建設業の魅力・やりがい創出支援事業【57,000千円】 ○　県展開催事業【18,967千円】　○　福島県芸術祭開催【1,000千円】　○　文学賞実施事業【4,237千円】 ○　声楽アンサンブルコンテスト全国大会（19,358千円） ○　美術館企画展経費（大ゴッホ展等）【46,330千円】　○　博物館企画展経費【35,809千円】

※　冒頭に【新】表示がない事業は、継続事業
　　主な取組の【】の金額は、令和８年度予算額